

海外安全対策情報（２０２４年１０月～１２月期）

１ 治安情勢・犯罪の傾向

（１）全体

西豪州全体における総犯罪発生件数は７１，９０４件。パース首都圏では５０，９３０件であり、西豪州全体における首都圏の割合は７０．８％となっています。西豪州警察によれば、一般犯罪は予め計画されたものではなく、機会に便乗した犯罪が多くなっているとのこと。

今期の前年同期比と前期比は若干の減少傾向ですが、依然として窃盗、特に観光客をターゲットにしたスリや置き引きなどに注意が必要です。

（２）主な犯罪発生件数内訳

	発生件数	前年同期比	前期比
（ア）西豪州全体	７１，９０４件	△ ２．４％	△ １．２％
殺人	２８件	＋３３．３％	＋４７．４％
性犯罪	１，４７８件	＋３８．５％	＋１２．６％
家庭内暴行	９，１７７件	＋１２．９％	＋１２．５％
家庭外暴行	４，５１３件	△ ０．４％	＋ ３．７％
窃盗	１８，７７０件	△ １３．１％	△ ４．８％
薬物犯罪	７，０８２件	＋２３．６％	△ ９．６％
詐欺関連	５，４３５件	△ ３４．３％	△ ２０．７％
（イ）パース首都圏	５０，９３０件	△ ４．７％	△ ２．９％
殺人	１４件	＋１６．７％	＋１６．７％
性犯罪	１，０５６件	＋３６．４％	＋１２．６％
家庭内暴行	５，３４５件	＋２１．６％	＋１３．１％
家庭外暴行	３，０６２件	△ ０．２％	＋ ２．５％
窃盗	１５，３７６件	△ １５．３％	△ ５．８％
薬物犯罪	４，６７３件	＋１７．８％	△ １０．８％
詐欺関連	４，６８５件	△ ３７．３％	△ ２０．７％

（３）項目別

ア 窃盗

総犯罪件数の約３０％を占める窃盗関連事件は、パース首都圏で１５，３７６件発生しています。財布やパスポートなどの貴重品には細心の注意を払ってください。特に海外から西豪州を訪問する人は、首都圏はもちろん、郊外や観光地においてもスリ、置き引きに十分注意してください。

また、窃盗関連事件のうち、自動車に関連する窃盗（車上荒らし）がおよそ２５％を占めています。外出先などでは駐車場所に注意するとともに、車外から見える位置に荷物を置かない、車両から離れる場合にはごく短時間であっても施錠する、などの対策を心がけてください。

イ 詐欺

西豪州警察の注意喚起・啓発などもあり、クレジットカード関連の詐欺は前期に比べて減少しているようですが、件数では今期だけでも約4,500件発生していますので、引き続き注意が必要です。西豪州警察は、銀行口座の暗証番号等の管理の徹底はもちろんのこと、定期的な使用履歴の確認が不正利用の早期発見につながる、と呼びかけています。

2 邦人被害事案

観光地の比較的人通りの多い駐車場で、昼間であるにもかかわらず車上荒らしに遭いパスポート等を盗まれた事案や、パース市内では夜間に複数の男性に囲まれ暴行され金品を強盗されるなどの事案が報告されています。基本的な防犯対策を怠らないようにした上で、万が一の時にどのように対応すべきかを日頃から想定しておく事が大切です。今一度、以下の点にご留意ください。

- ・外出時は付近に不審な人物や車両がないか確認するよう心がけて下さい。
- ・夜間は可能な限り単独ではなく複数人で移動・行動するようにしてください。特に歩きながらのスマホ操作やイヤホン等の利用は犯罪者に狙われやすくなりますのでご注意ください。
- ・貴重品等の携行は必要最小限にしてください。パスポートの盗難及び紛失も増えていますので、身分証として携行する際は一層の注意をお願いします。また、車の中の見えるところにカバン等を放置しないでください。

もし事件・事故に遭遇し、緊急に救助等が必要な場合には、緊急電話番号「000」にダイヤルしてください。事案に応じて警察、消防、救急に転送されます。

3 テロ・爆弾事件発生状況

報告されていません。

豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、2024年8月をもって、全体で5段階のうち下から3番目の「蓋然性がある（PROBABLE）」に引き上げられています。今回のテロ警戒レベルの引き上げは、特定の事案や過激主義に基づくものではないとするも、幅広い過激主義や世界情勢に感化される国民の増加に対する警戒の意味が込められているとされています。治安当局は引き続きテロ容疑者の摘発及び未然防止に取り組んでいますが、近年はテロの発生を予測し未然に防ぐことがますます困難となっていますので、テロはどこでも起こり得ることを念頭に置き、日々情報収集に努めることが重要です。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

報告されていません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威となる問題は認められていません。

(了)